

修道中学校・修道高等学校 インターアクトクラブ
2024 年度（2024 年 6 月～2025 年 5 月）活動報告書

顧問教師（参与）	2024 年度 筆頭参与：谷本理紗 参与：恵島聖、栗本潤 2025 年度 筆頭参与：栗本潤 参与：恵島聖
構成員	2025 年度 会長（班長）近藤蕉琳 副会長（副班長）関内敬梧、西村悠希 中学・高校 計 30 名（6 年生 16 名を含む）

1. 2024-2025 年度の活動内容

2024-2025 年度もハワイとの交流や核廃絶に向けての署名活動など、他校との交流の機会を多くいただきました。たくさんの経験を通じて、更にまた自分たちの視野が広がったと感じています。私たちが奉仕活動に参加することによって、少しでも社会を良くすることに繋がってほしいと願っています。

2. 具体的な活動の報告・感想

【地区大会】

2024 年 7 月 27・28 日に広島県福山市で開催された第 48 回インターアクト地区大会では、中国地方の高校生が集まり、地域理解と交流などを目的としたさまざまなプログラムが行われました。

初日は福山城や鞆の浦を訪れ、歴史や文化に実際に触れるフィールドワークを行いました。グループでの活動を通じて、他校の生徒との交流が深まり、地域への興味やグループ内の協調性がはぐくまれました。

2 日目には「福山版ナイトタイムエコノミー」をテーマに講演とグループディスカッションが行われ、夜の地域活性化に向け、福山夜市を活用することや城のライトアップなどの様々な案が出ました。この大会を通じて、地域の魅力を再発見するとともに、仲間と協力して課題に取り組む姿勢や、自ら発信する力を養う貴重な経験となりました。



【ハワイとの交流】

私たちは、2023 年 8 月 19 日から約 1 週間にわたり、ハワイでの研修に参加し、数多くの貴重な体験をさせていただきました。まず、ハワイ島ではホームステイを通じて現地の文化や生活習慣に直接触れることができました。また、ワイアケア高校との交流会では、同世代の学生たちと意見を交わし、異なる価値観に触れる貴重な機会となりました。毎日が新しい体験の連続であり、充実した時間を過ごすことができました。続いて訪れたオアフ島では、ダイヤモンドヘッドのハイキングに参加しました。舗装された美しい道を登りながら自然を満喫し、頂上からはハワイの絶景を一望することができました。また、真珠湾を訪問し、第二次世界大戦についてアメリカの視点から学ぶことで、平和の大切さについてより多角的に考えるきっかけとなりました。今回の研修を通じて得た経験や学びは、私たちにとって一生の宝物となりました。このような貴重な機会を与えていただいたことに、心より感謝申し上げます。



【文化祭バザー・募金】

昨年の 11 月 2 日、3 日の 299 年祭にてチャリティーバザーを行いました。

ロータリークラブの皆さまからいただいた寄贈品を自分たちで価格を調べて値札をつけ、たくさんの方々に買っていただくことができ、インターアクト班の活動を知ってもらうことができました。バザーの売上金は、日本赤十字病院・県立広島病院に寄付し、赤十字病院では、寄付金で1台の車いすを整備することに役立ちました。

今後も文化祭という場でインターアクト班の活動を伝え、地域の役に立つ仕事をしていきたいと思います。

【河原清掃】

定期的に行っている河原清掃についてです。例年に比べて、活動の回数は少なかったですが、以前より明らかにゴミの量が減少しており、河原がより綺麗になっているのを感じて、非常に嬉しかったです。

また、問題点としては大型ゴミを発見した時に毎回対処に困ってしまうということがあり、事前にどのような対応をするかを決めておくべきではないかと思いました。

今後河原がさらに綺麗になることを期待しています

【車椅子清掃】

日赤病院と県病院にて車椅子清掃を行っています。

主に車輪についている錆を落とし、スムーズに車輪が回転できるように清掃します。錆を落とすのは大変ですが、忙しい医療従事者の方の手助けになれたり、入院患者の方々に少しでも喜んでいただけたらいいなという思いで精一杯活動しています。

ただ、活動する回数が少ないと、汚れが付きすぎて落としきれないこともあるので、今年度は活動の回数を増やして、責任もって活動していきたいと思います。



【署名活動】

昨年5月と8月に、女学院高校の方々と核兵器廃絶のための署名活動を行いました。炎天下の日差しの中、修道魂を発揮し、日本そして海外の方々からも英語を通してたくさんの署名をいただきました。

署名活動を終えた後女学院高校に戻り、平和や核廃絶についてのグループディスカッションを行い、さらに学びや考えを深めることができました。

被爆80年である今年、皆が生きやすい、平和な世の中を作るために、我々若者はヒロシマを風化させず後世に伝えていくために行動を起こしていく事が使命です。

この署名活動を第一歩としてこれからも活動を重ねていきたいと思います。



【あしなが学生募金】

4月19日(土)、高校3年生5人であしなが学生募金に参加しました。4月とは思えないほどの暑さの中、多くの方々にご協力いただき、約2時間声を出し続けた努力が実を結んだと感じています。

また、一緒に活動したアフリカからの留学生と交流することもでき、とても有意義な時間となりました。

今後もインターアクト班の一員として、このような社会貢献活動を続けていきたいと思っています。



【こども食堂ボランティア】

毎月第二木曜日に、己斐西集会所で「えがお食堂」という子ども食堂のお手伝いをしています。

子ども食堂の手伝いは清心、学院、修道の3校で協力して行っています。子供達の相手をしたり、片づけの手伝いやマナーの指導などが主な活動内容です。この活動は、子ども食堂に来ている子供達と会話することで、子供達により近い目線から彼らが抱える問題に寄り添ってあげられる貴重な体験だと思っています。



子ども食堂の手伝いを通してこれからの子供達の未来がより明るいものになるような活動にしたいです。

3. 2025-2026 年度の課題と抱負

昨年度は数多くの活動を実施し、その中でも平和活動では、署名活動などで平和の大切さを伝えることができたと思います。

また、昨年度から新しく活動に取り入れているパイロット株式会社さんの文房具のリサイクルの活動に関しては昨年度学校内で数多くの不要となった文房具を集めることができました。文房具の回収は今年度も継続していきたいと思います。また一回一回の活動を大切にしていきたいと思います。

反省点として昨年度は清掃活動の回数が少なかったことと、校内に活動の多くを知ってもらえていないことがあげられると思います。そのため今年度は活動の数をさらに増やせるようにすることと、多くの人に知ってもらえるよう行動をして、努力したいと思います

そして今年度、私たちインターアクト班は「一言芳恩（イチゴンハウオン）」の心を大切にし、どんなに小さな言葉や行動でも、人の心に温かさを届けられるような活動を目指していきます。一つひとつの出会いを大切にし、感謝と恩返し、思いやりを行動で示せる一年にしていきたいと思います。